

表紙について

今年は、大正13年（1924）に逝去された創立者の一人・相馬永胤の没後100年という節目の年です。表紙は相馬永胤邸で撮影された大正12年度の卒業生たちとの記念写真で、写真中央のやや右側にいるあごひげを貯えた人物が相馬永胤です。相馬は、卒業式を終えた学生たちを自身の邸宅に招待し、園遊会を催していました。広い邸内のところどころに模擬店が設けられ、卒業生は一日中楽しんだそうです。

写真に写る相馬永胤邸は、東京府豊多摩郡戸塚村（現在の新宿区西早稲田）にあり、その広大な敷地には幽雅な庭園も築かれていました。この相馬永胤邸の庭園の一部は今も残されており、現在は甘泉園公園として人々に親しまれています。